

令和6年11月29日
豊島区

東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）が発行する ソーシャルボンドの購入について

令和2年7月、豊島区は東京都で初めて「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定され、SDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会の実現に取り組んでいます。

基金の運用においてもSDGsの推進に貢献するため、令和6年11月29日、東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）が発行するソーシャルボンドを購入しました。

○ 選定理由

- ・ NEXCO東日本は、全額政府出資の株式会社であり、社会基盤である高速道路の建設及び管理等を行っている。
- ・ 高速道路の整備は、地域活性化、激甚化する気象災害へのリスク軽減、交通安全の推進及び環境保全などの社会的意義があり、SDGsの実現に寄与するものである。

今後も本区は、SDGs未来都市として、SDGsの理念や目標を踏まえて積極的な取り組みを推進し、国際アート・カルチャー都市の実現に努めてまいります。

※ SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業とは

「SDGs未来都市」とは、SDGsの理念に沿った取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通し、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を内閣府が選定するもの。また、その中で特に先導的な取り組みが「自治体SDGsモデル事業」として選定される。（参考リンク：[「SDGs未来都市」豊島区](#)）

※ ソーシャルボンドとは

資金使途が社会的課題の解決に資するものに限定される債券。NEXCO東日本が発行するソーシャルボンドは、同社が担う高速道路の新設・改築、修繕・災害復旧、特定更新等の事業に充当され、地域活性化、災害対策、交通安全の推進及び環境保全の社会貢献活動に活用されることから、国際的なソーシャルボンド原則に適合しているとの第三者評価を得ている。